

みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする
取り組みを紹介します。



特定非営利活動法人「コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク」は、兵庫県ひきこもり相談支援センターの但馬地域ランチとして、不登校や引きこもり支援を行っているんだ。

今回は、当事者や家族への支援を行う「ドーナツの会」の取り組みを紹介するよ。

自分らしく、ありのままを大切に

「ドーナツの会」を運営するのは、特定非営利活動法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク。不登校や引きこもりの若者、その家族を支援するため、相談員による電話や来所相談、家庭訪問に加え、居場所・交流スポットの提供などを行っている。

ドーナツの会では、相談に訪れた方に対して「一人の人間として尊重する姿勢を忘れず、ありのままの姿を受け入れる」ことをスタッフ内で取り決めているそうだ。

これまで活動を通じて関わった人は150人を超える。それぞれの個性を大切にしながら自分なりの幸せに寄り添うようにサポートしている。

戸田和代事務局長は、「ここを訪れる若者から学ぶことも多く、エネルギーをもらっている。支援する側とされる側という上下の関係ではなく、常に対等な関係でありたい」と語る。

笑顔があふれる「ドーナツ」子ども食堂

「ドーナツの会」発足から6年目

「ドーナツの会」の取り組み

～一人一人に寄り添った支援を～



ドーナツ子ども食堂の様子



「ドーナツの会」誰でも立ち寄れる交流スポット

を迎えた今年3月、安価な食事と居場所を提供する「ドーナツ子ども食堂」を開設した。対象を子どもだけに限定せず、誰でも気軽に訪れることができ、親子連れや高齢者など多くの人が温かい食事とともに会話に花を咲かせている。

食堂は月2回開催され、同会のメンバーとボランティアが調理や配膳を行う。配膳は、同会に通う若者が担当しており、食堂を通して自信をつける、多くの地域住民とつながりを深める場もなっている。

また、同会は、昨年初めて但馬地域の社会福祉協議会や豊岡市子ども支援センターなどが参加する「但馬地域ネットワーク会議」を立ち上げ、県内の引きこもりの実情や活動内容を

共有するなど活動を広げている。各地域の要請に応じて、出前講座や個別相談も積極的に行っている。

今後の目標について、戸田事務局長は「課題は、不登校や引きこもりの方を家族で抱え込んでしまっていること。今後は、地域の中で若者の力を引き出していくことが重要で、一人一人が尊重される社会づくりが求められている。豊岡から各地域に活動を広げ、不登校や引きこもりの支援を充実させたい。さらに他の組織と連携しながらアウトリーチをしたい」と力強く語る。新しい取り組みに挑戦し続けるネットワークの活躍から目が離せない。

取材を終えて

取材日は、スタッフの皆さんから「遠くからよく来てくれたね」という温かいお声をかけていただきました。スタッフの明るい笑顔と和やかな雰囲気が訪れる人をほっとさせてくれるのだと感じました。

特定非営利活動法人
コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク
「ドーナツの会」

豊岡市城南町23-6 豊岡健康福祉センター3階
TEL:0796-26-1101